

クラシック・バレエの父、プティパ生誕200年を祝う特別プログラム 東京バレエ団<プティパ・ガラ>、まもなく開催！

数多くの名作を生んだクラシック・バレエの父、マリウス・プティパの生誕200年を祝い開催する<プティパ・ガラ>。東京バレエ団の斎藤友佳理芸術監督と出演ダンサーから、この特別な公演に寄せるメッセージが届きました！



将来を良くしていきたいのなら、歴史を振り返ることが大切です
すべてプティパがもとにあるということを、忘れないでほしいのです

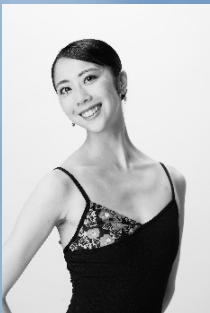
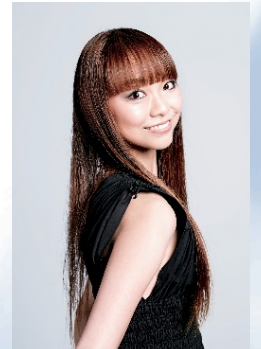
芸術監督 斎藤友佳理 Yukari Saito

「なぜ、いまさらプティパ？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが。ロシアでは古臭いことを“ナフタリン”などと揶揄しますが——（笑）。もちろん、“新しいこと”への挑戦は必要ですが、将来を良くしていきたいのなら、歴史を振り返ることが大切です。いま上演されている『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ラ・バヤデール』も、すべてプティパがもとにあるということを、忘れないでほしいのです。

プティパの作品を踊るたびに、バレエという芸術の奥深さを感じます

上野水香 Mizuka Ueno

今、私たちが踊り、皆様に愛される古典は、マリウス・プティパという偉大な振付家が、作り、遺したものです。バレエの原点と言えると思います。生誕200年という年に、改めてその重みを感じています。同時に、この記念の年に、バレエの原点に立ち返り、神奈川県民ホールでプティパの作品を上演することはとても、意義深いと思います。私自身、これまで数多くのプティパ原作の作品を踊ってきました。そのたびにバレエという芸術の奥深さ、そして古典の偉大さを感じております。今回私は「ライモンダ」を踊ります。厳かで格調高いバレエです。東京バレエ団全員でこの祝祭を盛り上げて参りますので、ぜひお楽しみください。



「ジョコンダ」の“時の踊り”、時間の流れを踊りと素敵な音楽で表現

柿崎佑奈 Yuna Kakizaki

“時の踊り”は「ジョコンダ」というオペラの中の一場面タイトルどおり、朝、昼、夜、夜中と、1日の時間の流れが踊りと素敵な音楽で表現されます。朝や昼は動きも早く活発な振付、夜、夜中は静かでしっとりした踊り……「時間」を目で感じて楽しんでいただけたらと思います。私が踊るパートは“夜の女王”のような役で、登場時には長いヴェールを持って威厳をもって演じなければなりません。32回転など高度な技の見せ場もあります。パートナーのブラウリオ、コール・ドの皆で力を合わせて、お客様に楽しんでいただけるような舞台を目指して頑張りたいと思います！



「ジョコンダ」にはバレエの美しさがつまっています

ブラウリオ・アルバレス Braulio Alvarez

「ジョコンダ」はテクニックではなく、バレエの美しさを楽しむ作品。バレエのもっとも美しい部分がつまっています。心から表現して、指先まで意識しながら、素敵な雰囲気をつくりたいと思います。ともに主役をつとめる柿崎佑奈さんとともに、作品の魅力をしっかりお伝えしたいと思います。東京バレエ団の「ジョコンダ」初演、ぜひ劇場で観て楽しんでください！



「ジョコンダ」のリハーサル

東京バレエ団<プティパ・ガラ> 9/1(土)14:00 開演 神奈川県民ホール大ホール ※詳細は裏面をご覧ください。

「ジョコンダ」 柿崎佑奈、ブラウリオ・アルバレス ほか

「エスメラルダ」 伝田陽美、柄本弾 ほか

「騎兵隊の休息」 秋山瑛、井福俊太郎

「ライモンダ」より 上野水香、柄本弾 ほか

「アルレキナーダ」 足立真里亜、樋口祐輝

「ラ・バヤデール」より“影の王国” 川島麻実子、秋元康臣 ほか

「タリスマン」 沖香菜子、宮川新大

指揮：ワレリー・オブジャンコフ 演奏：神奈川フィルハーモニー管弦楽団